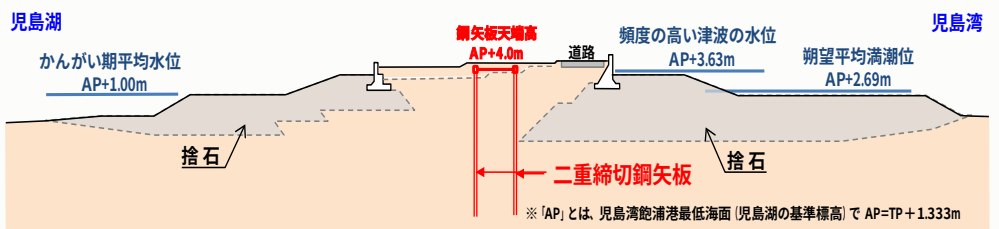


児島湾沿岸地区の概要

児島湾締切堤防は、干拓農用地の農業用水の確保と高潮・塩害防止を目的として造成・改修されました。しかし、大規模地震が発生した場合、堤防としての機能が低下し、①津波や高潮が児島湖周辺の農地や市街地に浸入する ②児島湖は海水浸入により塩水化し農業用水が確保できなくなる といった被害が想定されています。このため、耐震化対策を行い、大規模地震発生時の農業用水源の喪失やその後の津波被害等の防止を図ります。

工事の概要①（締切堤防の対策工）

締切堤防に二重の鋼矢板を打設し、地震が発生し締切堤防が沈下したとしても地震後に発生する津波の越波を防止します。



施設名	目的	工事範囲	工事内容
締切堤防(改修)	津波の越波防止	1.35km	堤防内部に鋼矢板（鉄の板）の壁を二重につくる



二重締切鋼矢板の設置計画ライン



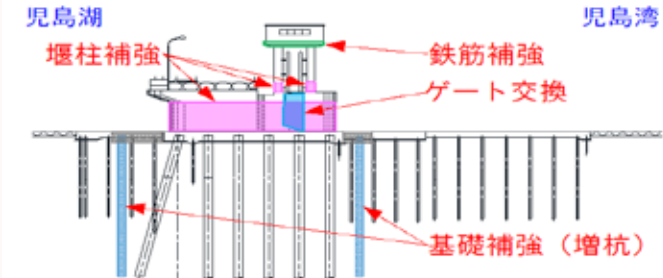
鋼矢板の施工状況（令和2年度）

関係市	岡山市、玉野市、倉敷市
受益面積	4,320ha（水田 4,292ha、畑 28ha）
総事業費	260億円
事業工期	令和元年度(平成31年度) ～ 令和12年度(予定)
事業内容	樋門・閘門(改修):7門 (172m) 締切堤防:1.56km（うち改修1.35km）



工事の概要②（排水樋門の対策工）

増杭による基礎補強、門柱・堰柱の炭素繊維巻立て補強、架台の鉄筋補強を実施し、地震後もゲートの操作機能を確保します。



施設名	目的	工事範囲	工事内容
排水樋門(改修)	地震による門柱等の破壊防止	7門 (172m)	・ゲートの柱を鉄筋や炭素繊維で補強 ・増杭で堰柱の地盤補強 ・ゲートの交換



炭素繊維による橋脚の巻立て補強事例



海上での杭の施工事例